

平成19年度 事業評価書

地 域 名	北海道稚内市	選定年度	H17年度	事業規模	小規模事業
まちづくり協議会名	稚内新エネルギー研究会				
モデル事業名	風と燃料電池で築く環境最先端のまちづくり事業				

1. 事業の実施状況

委託事業	事業 期間	H17年度	普及啓発事業として、新エネルギーのシンポジウム・フォーラム、市民環境セミナー、定期活動報告会を開催。また、広報誌や新エネルギー啓発パンフレットを作成。
		H18年度	普及啓発事業として、燃料電池設備の公開による環境学習、地球温暖化問題の理解とCO2削減啓発のための市民環境セミナー、シンポジウム、フォーラム等を開催。また、広報誌や新エネルギー啓発パンフレットを作成。
		H19年度	普及啓発事業として、交付金事業で設置した家庭用燃料電池に関するセミナー、市民環境フォーラムを開催したほか、広報誌や教材を作成。
交付金事業	事業 期間	H17年度	燃料電池設備設置事業として、稚内市が所有する風車を利用して、稚内公園のゲストハウスに燃料電池を設置。
		H18年度	既設燃料電池への増設とヒートポンプ設置事業として、前年度導入の燃料電池の同方式の燃料電池を増設するとともに大気吸熱型ヒートポンプを設置。
		H19年度	環境教育研修施設である「風のがっこう稚内」と公募により選定した「一般住宅」に、LPガス改質型の家庭用燃料電池(0.7KW)コージェネレーションシステム2基を設置。

2. 評価・分析

①事業の特色・モデル性	<p>今後の水素社会の構築を視野に入れながら、豊富な地域資源である風力などの自然エネルギーの活用を進めていこうとするものであり、多くの関係者が熱心に取り組んでいる。風力発電の電力で水を電気分解することにより得られる水素を燃料電池に用いることにより発電するという先駆性が見られる。他にも環境教育研修施設「風のがっこうわかかない」の建設・運営を計画しており、風、太陽光、バイオ等の新しい活用システムの提案や環境教育の場として利用するなど、市民等の環境意識の向上が期待できる。</p>		
②環境保全効果 (二酸化炭素排出削減効果等)	二酸化炭素排出削減効果	備 考	
	目 標 値	29.9	H16年度、H17年度、H18年度事業分
	実 績 値	1.42	H16年度、H17年度、H18年度整備施設のH19年度稼働実績
	(目標値・実績値単位:t-CO2/年)		
③経済活性化効果	<p>・風力発電を利用した燃料電池設備の設置事業 今年度は目標値を現実的なものに再設定したが、達成率は芳しくない。原因として、積雪による閉鎖、メンテナンス等稼働期間の短縮があったためと分析しているが、この点をさらに検証し、今後は改修やメンテナンスに係わる時間を出来る限り短縮する等、運転管理面からの改善努力が必要である。</p>		
	<p>・風力発電を利用した燃料電池設備の設置事業 風力エネルギーを利用した水電気分解方式による燃料電池の発電に伴う、購入電力費の削減効果を得ることが出来ている。</p> <p>・家庭用燃料電池コージェネレーションシステム設備設置事業 設備設置による直接効果を得ることが出来ている。</p>		
④その他			